

2015年9月10日

販路開拓情報：第5回日本精品展 in 上海 2015 出展報告

愛知県上海産業情報センター
安田 龍

1 第5回日本精品展 in 上海 2015 の概要

日本精品展については、昨年7月のレポートでも展示会の概要を紹介しておりますが、今年は本センターが県内企業とともに第5回日本精品展 in 上海 2015 へ出展しましたので、その内容も含めて報告します。

「第5回日本精品展 in 上海 2015」は、日用品を中心とした日本製品の展示会として、中国百貨商業協会と一般社団法人日中経済交流協会の主催により、2015年8月6日から8日までの3日間、上海新国際博覧中心のE4号館で開催されました。

今回も昨年と同じく「中国日用百貨商品交易会」のフェアインフェアとして開催され、1万5千社以上の会員組織を有する中国百貨商業協会の協力の下、中国全土の百貨店やスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、家電量販店等の小売店の経営者や仕入責任者、代理商との商談機会が多くあることが本展示会の特徴と言えます。

今回日本精品展には、35社・団体で60小間の出展となり、昨年より出展規模は縮小しましたが、来場者数は1日目31,118名、2日目20,917名、3日目10,004名と3日間合計で62,039名と昨年の約33,000名と比べて約88%増となっています。

これは、昨年はE4館を日本館として使用し日系企業のみの出展となっていましたが、今年はE4館にも中国ローカル企業を入れて人の流れを良くするという主催者側の工夫が功を奏したものであると思います。

主催者が展示会終了後に出展者へ実施したアンケート結果によると、昨年と比べ来場者数が増加したことに伴い、1社あたりの平均商談件数も増加しており、出展に対する満足度も満足以上と回答した企業が80%となっています。

また、出展の主な目的は販路開拓50%、ビジネスパートナー探し35%、マーケティング15%となっており、拡大する中国市場において販路開拓に繋げたい企業が多く出展していたことが伺えます。

主催者としても、今後継続的にマッチング機会の創出をサポートしていくとともに、事前の準備が不足していたと感じた企業に対し、出展準備の段階からサポートしていく体制を整えていきたいとのことです。

2 本展示会における本センターの取り組み

本センターでは、今回の展示会において2小間を確保し、県内企業3社とともに愛知県ブースとして出展しました。

本センターは、ブース内に観光ポスターを掲示し、観光パンフレットを配布することにより、中国人来場者へ愛知県の観光情報や産業情報のPRを行いました。

さらに、実際に愛知県へ旅行してみたいという来場者に対し、現地旅行社に中部国際空港発着便を利用して造成してもらったツアー商品を紹介し、愛知県の観光する際のモデルルートとして参考にしてもらいました。

一緒に出展した県内企業は、中国人来場者に対し、自社製品の普及啓発のためにサンプル品を配布したり、新しく日本から輸入を開始した日本酒の反応を確認するために試飲を行ったり、新規開発している商品を実際に使用してもらい感想をヒアリングする等、主にマーケティングの場として活用していただきました。

出展した県内企業からは、会期中人通りが絶えることがあまりなく、想像していた以上に来場者が多かった、自社製品に対して非常に多くの意見を聞くことができ、具体的な見積もりを要求してきた企業もあり、非常に良いマーケティングの場になったとの評価をいただくことができました。

引き続き本センターでは、県内企業の販路開拓に繋がる取り組みを行っていきたいと思います。

また、今回の展示会では、今年4月1日に上海市内に開所した愛知大学上海交流センターと連携し、上海に長期留学している学生や夏休みを利用してインターンシップに来ている学生に愛知県ブースでの観光PRや県内企業の商品紹介等の出展補助を体験してもらおうという新しい取り組みも実施しました。

体験した学生からは、最初は中国語でどのように説明したら良いか戸惑ったけれど次第に自分で工夫して説明できるようになった、海外で働くというイメージができた、日本では体験できない経験ができ良い機会になったという感想が寄せられました。

今後も大学と連携し、学生が海外で就業体験する機会を積極的に作っていきたいと思います。



【展示会場の様子】



【愛知県ブースの様子】

上海産業情報センターでは、今後も中国市場における販路開拓について、情報提供していきたいと思えます。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。
上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。
本情報の採否は読者の判断で行ってください。
また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。